

表29. 過去1年間より前にHIV抗体検査を受検した対象者のHIV抗体検査関連項目(居住地エリア別)続き 大阪府～合計

	居住地エリア							合計 n (%)	p-value
	大阪府 n=158 n (%)	中四国 n=125 n (%)	福岡県 n=115 n (%)	九州 n=97 n (%)	沖縄 n=34 n (%)	無回答 n=49 n (%)	合計 n=1,837 n (%)		
過去1年間に検査を受けなかった理由									
感染が心配になるような行為をしてないから	44 (27.8)	35 (28.0)	32 (27.8)	40 (41.2)	8 (23.5)	19 (38.8)	584 (31.8)	0.249	
自分もパートナーもHIV陰性であるから	22 (13.9)	14 (11.2)	14 (12.2)	7 (7.2)	6 (17.6)	9 (18.4)	233 (12.7)	0.648	
頻繁に検査に行く必要性を感じないから	12 (7.6)	18 (14.4)	11 (9.6)	10 (10.3)	1 (2.9)	9 (18.4)	206 (11.2)	0.260	
自分のHIV感染の状況を知りたくないから	22 (13.9)	13 (10.4)	21 (18.3)	4 (4.1)	3 (8.8)	6 (12.2)	207 (11.3)	0.028	
近くに検査をする場所がないから	29 (18.4)	30 (24.0)	27 (23.5)	22 (22.7)	7 (20.6)	5 (10.2)	369 (20.1)	0.030	
検査に行くといやな思いをするから	12 (7.6)	6 (4.8)	17 (14.8)	10 (10.3)	4 (11.8)	5 (10.2)	141 (7.7)	0.141	
検査に行くのが面倒くさいから	52 (32.9)	32 (25.6)	33 (28.7)	20 (20.6)	5 (14.7)	4 (8.2)	496 (27.0)	0.059	
忙しく、時間がないから	68 (43.0)	46 (36.8)	60 (52.2)	28 (28.9)	15 (44.1)	16 (32.7)	785 (42.7)	0.103	
陽性結果が出たら怖いから	27 (17.1)	13 (10.4)	24 (20.9)	10 (10.3)	3 (8.8)	6 (12.2)	308 (16.8)	0.038	
自分はHIVに感染しないと思うから	12 (7.6)	12 (9.6)	10 (8.7)	4 (4.1)	1 (2.9)	4 (8.2)	113 (6.2)	0.209	
その他	5 (3.2)	3 (2.4)	6 (5.2)	5 (5.2)	1 (2.9)	2 (4.1)	54 (2.9)	0.644	
特に理由はない	6 (3.8)	11 (8.8)	6 (5.2)	10 (10.3)	4 (11.8)	4 (8.2)	128 (7.0)	0.287	
受検をすすめられた人									
MSMの友達	59 (37.3)	35 (28.0)	36 (31.3)	36 (37.1)	13 (38.2)	15 (30.6)	610 (33.2)	0.349	
彼氏・パートナー	111 (70.3)	78 (62.4)	76 (66.1)	60 (61.9)	28 (82.4)	34 (69.4)	1,264 (68.8)	0.478	
セックスフレンド	39 (24.7)	26 (20.8)	25 (21.7)	20 (20.6)	12 (35.3)	20 (40.8)	463 (25.2)	0.254	
ネット上の友達	6 (3.8)	9 (7.2)	4 (3.5)	6 (6.2)	5 (14.7)	2 (4.1)	78 (4.2)	0.249	
ゲイバースタッフ	16 (10.1)	11 (8.8)	9 (7.8)	10 (10.3)	5 (14.7)	3 (6.1)	168 (9.1)	0.763	
医療者(性感染症)	55 (34.8)	45 (36.0)	28 (24.3)	23 (23.7)	11 (32.4)	14 (28.6)	537 (29.2)	0.568	
医療者(その他の診療科)	35 (22.2)	34 (27.2)	16 (13.9)	19 (19.6)	10 (29.4)	4 (8.2)	365 (19.9)	0.215	
その他	2 (1.3)	10 (8.0)	5 (4.3)	6 (6.2)	0 (0.0)	1 (2.0)	57 (3.1)	0.007	
誰でもない(自分で決めたい)	22 (13.9)	20 (16.0)	17 (14.8)	14 (14.4)	3 (8.8)	11 (22.4)	265 (14.4)	0.552	
今後の受検意思									
1ヶ月以内に受けたい	11 (7.0)	8 (6.4)	10 (8.7)	3 (3.1)	5 (14.7)	2 (4.1)	137 (7.5)	0.649	
6ヶ月以内に受けたい	74 (46.8)	55 (44.0)	56 (48.7)	40 (41.2)	16 (47.1)	20 (40.8)	833 (45.3)		
6ヶ月以内には受けない	73 (46.2)	62 (49.6)	49 (42.6)	54 (55.7)	13 (38.2)	27 (55.1)	867 (47.2)		

表30. 過去1年間より前にHIV抗体検査を受検した対象者のHIV抗体検査関連項目(コンドーム使用別)

	コンドーム使用										
	常用 n=433		非常用 n=810		アナルセックスなし n=469		無回答 n=125		合計 n=1,837		p-value
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
過去1年間に検査を受けなかった理由											
感染が心配になるような行為をしていないから	151	(34.9)	135	(16.7)	270	(57.6)	28	(22.4)	584	(31.8)	<0.001
自分もパートナーもHIV陰性であるから	29	(6.7)	144	(17.8)	51	(10.9)	9	(7.2)	233	(12.7)	<0.001
頻繁に検査に行く必要性を感じないから	41	(9.5)	94	(11.6)	53	(11.3)	18	(14.4)	206	(11.2)	0.500
自分のHIV感染の状況を知りたくないから	48	(11.1)	114	(14.1)	27	(5.8)	18	(14.4)	207	(11.3)	<0.001
近くに検査をする場所がないから	89	(20.6)	181	(22.3)	76	(16.2)	23	(18.4)	369	(20.1)	0.132
検査に行くとイヤな思いをするから	32	(7.4)	82	(10.1)	18	(3.8)	9	(7.2)	141	(7.7)	0.004
検査に行くのが面倒くさいから	104	(24.0)	248	(30.6)	112	(23.9)	32	(25.6)	496	(27.0)	0.057
忙しく、時間がないから	188	(43.4)	404	(49.9)	145	(30.9)	48	(38.4)	785	(42.7)	<0.001
陽性結果が出たら怖いから	76	(17.6)	149	(18.4)	53	(11.3)	30	(24.0)	308	(16.8)	0.003
自分はHIVに感染しないと思うから	29	(6.7)	43	(5.3)	38	(8.1)	3	(2.4)	113	(6.2)	0.138
その他	15	(3.5)	25	(3.1)	12	(2.6)	2	(1.6)	54	(2.9)	0.679
特に理由はない	39	(9.0)	53	(6.5)	24	(5.1)	12	(9.6)	128	(7.0)	0.144
受検をすすめられたい人											
MSMの友達	159	(36.7)	246	(30.4)	174	(37.1)	31	(24.8)	610	(33.2)	0.013
彼氏・パートナー	297	(68.6)	576	(71.1)	312	(66.5)	79	(63.2)	1,264	(68.8)	0.184
セックスフレンド	112	(25.9)	218	(26.9)	94	(20.0)	39	(31.2)	463	(25.2)	0.018
ネット上の友達	22	(5.1)	32	(4.0)	21	(4.5)	3	(2.4)	78	(4.2)	0.396
ゲイバースタッフ	44	(10.2)	71	(8.8)	49	(10.4)	4	(3.2)	168	(9.1)	0.090
医療者(性感染症)	152	(35.1)	214	(26.4)	139	(29.6)	32	(25.6)	537	(29.2)	0.020
医療者(その他の診療科)	96	(22.2)	143	(17.7)	106	(22.6)	20	(16.0)	365	(19.9)	0.079
その他	13	(3.0)	24	(3.0)	14	(3.0)	6	(4.8)	57	(3.1)	0.454
誰でもない(自分で決めたい)	66	(15.2)	110	(13.6)	76	(16.2)	13	(10.4)	265	(14.4)	0.268
今後の受検意思											
1ヶ月以内に受けたい	38	(8.8)	66	(8.1)	22	(4.7)	11	(8.8)	137	(7.5)	<0.001
6ヶ月以内に受けたい	223	(51.5)	391	(48.3)	157	(33.5)	62	(49.6)	833	(45.3)	
6ヶ月以内には受けたくない	172	(39.7)	353	(43.6)	290	(61.8)	52	(41.6)	867	(47.2)	

表31. これまでにHIV抗体検査を受検歴のない対象者のHIV抗体検査関連項目(年齢階級別)

	年齢階級												p-value		
	10代 n=723		20代 n=2,624		30代 n=1,234		40代 n=538		50代以上 n=132		無回答 n=132			合計 n=5,383	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
これまでに検査を受けなかった理由															
感染が心配になるような行為をしてないから	252	(34.9)	821	(31.3)	357	(28.9)	158	(29.4)	46	(34.8)	43	(32.6)	1,677	(31.2)	0.067
自分もパートナーもHIV陰性であるから	40	(5.5)	108	(4.1)	56	(4.5)	18	(3.3)	4	(3.0)	11	(8.3)	237	(4.4)	0.060
頻繁に検査に行く必要性を感じないから	50	(6.9)	206	(7.9)	90	(7.3)	34	(6.3)	11	(8.3)	13	(9.8)	404	(7.5)	0.350
自分のHIV感染の状況を知りたくないから	82	(11.3)	380	(14.5)	190	(15.4)	85	(15.8)	9	(6.8)	18	(13.6)	764	(14.2)	0.018
近くに検査をする場所がないから	150	(20.7)	574	(21.9)	236	(19.1)	63	(11.7)	12	(9.1)	25	(18.9)	1,060	(19.7)	<0.001
検査に行くといやな思いをするから	61	(8.4)	236	(9.0)	115	(9.3)	55	(10.2)	11	(8.3)	12	(9.1)	490	(9.1)	0.503
検査に行くのが面倒くさいから	187	(25.9)	925	(35.3)	331	(26.8)	119	(22.1)	18	(13.6)	23	(17.4)	1,603	(29.8)	<0.001
忙しく、時間がないから	203	(28.1)	1,002	(38.2)	386	(31.3)	152	(28.3)	19	(14.4)	37	(28.0)	1,799	(33.4)	<0.001
陽性結果が出たら怖いから	137	(18.9)	647	(24.7)	301	(24.4)	114	(21.2)	22	(16.7)	33	(25.0)	1,254	(23.3)	0.008
自分はHIVに感染しないと思うから	98	(13.6)	304	(11.6)	117	(9.5)	53	(9.9)	16	(12.1)	15	(11.4)	603	(11.2)	0.071
その他	42	(5.8)	126	(4.8)	46	(3.7)	23	(4.3)	6	(4.5)	6	(4.5)	249	(4.6)	0.233
特に理由はない	146	(20.2)	324	(12.3)	180	(14.6)	81	(15.1)	28	(21.2)	22	(16.7)	781	(14.5)	<0.001
受検をすすめられたい人															
MSMの友達	324	(44.8)	1,070	(40.8)	341	(27.6)	130	(24.2)	21	(15.9)	41	(31.1)	1,927	(35.8)	<0.001
彼氏・パートナー	494	(68.3)	1,821	(69.4)	733	(59.4)	274	(50.9)	52	(39.4)	78	(59.1)	3,452	(64.1)	<0.001
セックスフレンド	171	(23.7)	561	(21.4)	260	(21.1)	111	(20.6)	22	(16.7)	23	(17.4)	1,148	(21.3)	<0.001
ネット上の友達	49	(6.8)	111	(4.2)	37	(3.0)	15	(2.8)	3	(2.3)	5	(3.8)	220	(4.1)	<0.001
ゲイバースタッフ	102	(14.1)	273	(10.4)	73	(5.9)	34	(6.3)	5	(3.8)	9	(6.8)	496	(9.2)	<0.001
医療者(性感染症)	267	(36.9)	889	(33.9)	284	(23.0)	112	(20.8)	15	(11.4)	36	(27.3)	1,603	(29.8)	<0.001
医療者(その他の診療科)	163	(22.5)	593	(22.6)	190	(15.4)	98	(18.2)	16	(12.1)	24	(18.2)	1,084	(20.1)	<0.001
その他	22	(3.0)	87	(3.3)	40	(3.2)	17	(3.2)	6	(4.5)	3	(2.3)	175	(3.3)	0.001
誰でもない(自分で決めたい)	89	(12.3)	332	(12.7)	234	(19.0)	129	(24.0)	33	(25.0)	16	(12.1)	833	(15.5)	<0.001
今後の受検意思															
1ヶ月以内に受けたい	31	(4.3)	108	(4.1)	45	(3.6)	16	(3.0)	6	(4.5)	5	(3.8)	211	(3.9)	0.094
6ヶ月以内に受けたい	172	(23.8)	782	(29.8)	347	(28.1)	136	(25.3)	32	(24.2)	37	(28.0)	1,506	(28.0)	
6ヶ月以内には受けたくない	520	(71.9)	1,734	(66.1)	842	(68.2)	386	(71.7)	94	(71.2)	90	(68.2)	3,666	(68.1)	

表32. これまでにHIV抗体検査を受検歴のない対象者のHIV抗体検査関連項目(居住地エリア別)北海道～近畿

	居住地エリア															
	北海道 n=349		東北 n=405		関東 n=1,035		東京都 n=763		北陸信越 n=173		東海 n=188		愛知県 n=251		近畿 n=415	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
これまでに検査を受けなかった理由																
感染が心配になるような行為をしてないから	108	(30.9)	117	(28.9)	345	(33.3)	247	(32.4)	61	(35.3)	58	(30.9)	72	(28.7)	130	(31.3)
自分もパートナーもHIV陰性であるから	23	(6.6)	10	(2.5)	43	(4.2)	42	(5.5)	7	(4.0)	9	(4.8)	16	(6.4)	14	(3.4)
頻繁に検査に行く必要性を感じないから	26	(7.4)	34	(8.4)	79	(7.6)	49	(6.4)	16	(9.2)	17	(9.0)	19	(7.6)	33	(8.0)
自分のHIV感染の状況を知りたくないから	26	(7.4)	50	(12.3)	163	(15.7)	140	(18.3)	14	(8.1)	25	(13.3)	37	(14.7)	58	(14.0)
近くに検査をする場所がないから	74	(21.2)	90	(22.2)	236	(22.8)	136	(17.8)	30	(17.3)	47	(25.0)	51	(20.3)	91	(21.9)
検査に行くとイヤな思いをするから	30	(8.6)	35	(8.6)	101	(9.8)	54	(7.1)	14	(8.1)	19	(10.1)	28	(11.2)	39	(9.4)
検査に行くのが面倒くさいから	94	(26.9)	105	(25.9)	329	(31.8)	245	(32.1)	48	(27.7)	58	(30.9)	79	(31.5)	126	(30.4)
忙しく、時間がないから	126	(36.1)	122	(30.1)	347	(33.5)	251	(32.9)	69	(39.9)	58	(30.9)	90	(35.9)	146	(35.2)
陽性結果が出たら怖いから	60	(17.2)	92	(22.7)	254	(24.5)	200	(26.2)	24	(13.9)	44	(23.4)	53	(21.1)	93	(22.4)
自分はHIVに感染しないと思うから	42	(12.0)	47	(11.6)	110	(10.6)	94	(12.3)	27	(15.6)	21	(11.2)	26	(10.4)	49	(11.8)
その他	20	(5.7)	20	(4.9)	44	(4.3)	32	(4.2)	10	(5.8)	10	(5.3)	14	(5.6)	13	(3.1)
特に理由はない	50	(14.3)	75	(18.5)	143	(13.8)	86	(11.3)	25	(14.5)	22	(11.7)	29	(11.6)	64	(15.4)
受検をすすめられた人																
MSMの友達	118	(33.8)	134	(33.1)	387	(37.4)	282	(37.0)	66	(38.2)	68	(36.2)	106	(42.2)	148	(35.7)
彼氏・パートナー	224	(64.2)	235	(58.0)	696	(67.2)	542	(71.0)	105	(60.7)	129	(68.6)	174	(69.3)	256	(61.7)
セックスフレンド	83	(23.8)	93	(23.0)	227	(21.9)	164	(21.5)	46	(26.6)	50	(26.6)	69	(27.5)	92	(22.2)
ネット上の友達	15	(4.3)	12	(3.0)	47	(4.5)	32	(4.2)	9	(5.2)	15	(8.0)	13	(5.2)	10	(2.4)
ゲイバースタッフ	47	(13.5)	36	(8.9)	86	(8.3)	76	(10.0)	12	(6.9)	20	(10.6)	26	(10.4)	47	(11.3)
医療者(性感染症)	108	(30.9)	109	(26.9)	316	(30.5)	226	(29.6)	49	(28.3)	60	(31.9)	86	(34.3)	154	(37.1)
医療者(その他の診療科)	75	(21.5)	80	(19.8)	203	(19.6)	155	(20.3)	31	(17.9)	42	(22.3)	59	(23.5)	103	(24.8)
その他	12	(3.4)	9	(2.2)	31	(3.0)	22	(2.9)	4	(2.3)	3	(1.6)	11	(4.4)	15	(3.6)
誰でもない(自分で決めたい)	48	(13.8)	69	(17.0)	141	(13.6)	111	(14.5)	26	(15.0)	29	(15.4)	31	(12.4)	68	(16.4)
今後の受検意思																
1ヶ月以内に受けたい	9	(2.6)	11	(2.7)	48	(4.6)	42	(5.5)	7	(4.0)	5	(2.7)	9	(3.6)	18	(4.3)
6ヶ月以内に受けたい	92	(26.4)	100	(24.7)	295	(28.5)	257	(33.7)	36	(20.8)	53	(28.2)	74	(29.5)	116	(28.0)
6ヶ月以内には受けない	248	(71.1)	294	(72.6)	692	(66.9)	464	(60.8)	130	(75.1)	130	(69.1)	168	(66.9)	281	(67.7)

表32. これまでにHIV抗体検査を受検歴のない対象者のHIV抗体検査関連項目(居住地エリア別)続き 大阪府～合計

	居住地エリア								p-value
	大阪府 n=356 n (%)	中四国 n=407 n (%)	福岡県 n=351 n (%)	九州 n=399 n (%)	沖縄 n=106 n (%)	無回答 n=185 n (%)	合計 n=5,383 n (%)		
これまでに検査を受けなかった理由									
感染が心配になるような行為をしてないから	103 (28.9)	134 (32.9)	95 (27.1)	117 (29.3)	29 (27.4)	61 (33.0)	1,677 (31.2)	0.093	
自分もパートナーもHIV陰性であるから	13 (3.7)	17 (4.2)	13 (3.7)	14 (3.5)	6 (5.7)	10 (5.4)	237 (4.4)	0.035	
頻繁に検査に行く必要性を感じないから	26 (7.3)	32 (7.9)	22 (6.3)	27 (6.8)	9 (8.5)	15 (8.1)	404 (7.5)	0.308	
自分のHIV感染の状況を知りたくないから	45 (12.6)	54 (13.3)	54 (15.4)	55 (13.8)	15 (14.2)	28 (15.1)	764 (14.2)	<0.001	
近くに検査をする場所がないから	56 (15.7)	67 (16.5)	48 (13.7)	82 (20.6)	22 (20.8)	30 (16.2)	1,060 (19.7)	0.001	
検査に行くといやな思いをするから	37 (10.4)	49 (12.0)	34 (9.7)	30 (7.5)	6 (5.7)	14 (7.6)	490 (9.1)	0.050	
検査に行くのが面倒くさいから	115 (32.3)	128 (31.4)	110 (31.3)	106 (26.6)	26 (24.5)	34 (18.4)	1,603 (29.8)	0.003	
忙しく、時間がないから	133 (37.4)	118 (29.0)	110 (31.3)	132 (33.1)	43 (40.6)	54 (29.2)	1,799 (33.4)	0.016	
陽性結果が出たら怖いから	85 (23.9)	101 (24.8)	85 (24.2)	93 (23.3)	25 (23.6)	45 (24.3)	1,254 (23.3)	0.009	
自分はHIVに感染しないと思うから	43 (12.1)	42 (10.3)	34 (9.7)	42 (10.5)	11 (10.4)	15 (8.1)	603 (11.2)	0.156	
その他	15 (4.2)	19 (4.7)	16 (4.6)	15 (3.8)	5 (4.7)	16 (8.6)	249 (4.6)	0.071	
特に理由はない	52 (14.6)	62 (15.2)	66 (18.8)	59 (14.8)	16 (15.1)	32 (17.3)	781 (14.5)	0.008	
受検をすすめられたい人									
MSMの友達	128 (36.0)	143 (35.1)	127 (36.2)	127 (31.8)	42 (39.6)	51 (27.6)	1,927 (35.8)	0.237	
彼氏・パートナー	237 (66.6)	243 (59.7)	210 (59.8)	223 (55.9)	64 (60.4)	114 (61.6)	3,452 (64.1)	<0.001	
セックスフレンド	62 (17.4)	81 (19.9)	61 (17.4)	69 (17.3)	20 (18.9)	31 (16.8)	1,148 (21.3)	0.026	
ネット上の友達	13 (3.7)	16 (3.9)	9 (2.6)	18 (4.5)	6 (5.7)	5 (2.7)	220 (4.1)	0.191	
ゲイバースタッフ	35 (9.8)	46 (11.3)	19 (5.4)	29 (7.3)	6 (5.7)	11 (5.9)	496 (9.2)	0.023	
医療者(性感染症)	109 (30.6)	107 (26.3)	95 (27.1)	109 (27.3)	27 (25.5)	48 (25.9)	1,603 (29.8)	0.074	
医療者(その他の診療科)	81 (22.8)	61 (15.0)	63 (17.9)	79 (19.8)	20 (18.9)	32 (17.3)	1,084 (20.1)	0.138	
その他	14 (3.9)	16 (3.9)	11 (3.1)	18 (4.5)	3 (2.8)	6 (3.2)	175 (3.3)	0.612	
誰でもない(自分で決めたい)	51 (14.3)	68 (16.7)	66 (18.8)	81 (20.3)	17 (16.0)	27 (14.6)	833 (15.5)	0.161	
今後の受検意思								<0.001	
1ヶ月以内に受けたい	10 (2.8)	17 (4.2)	10 (2.8)	14 (3.5)	6 (5.7)	5 (2.7)	211 (3.9)		
6ヶ月以内に受けたい	125 (35.1)	84 (20.6)	82 (23.4)	113 (28.3)	38 (35.8)	41 (22.2)	1,506 (28.0)		
6ヶ月以内には受けない	221 (62.1)	306 (75.2)	259 (73.8)	272 (68.2)	62 (58.5)	139 (75.1)	3,666 (68.1)		

表33. これまでにHIV抗体検査を受検歴のない対象者のHIV抗体検査関連項目(コンドーム使用別)

	コンドーム使用						合計 n=5,383 n (%)	p-value
	常用 n=1,126 n (%)	非常用 n=2,167 n (%)	アナルセックスなし n=1,697 n (%)		無回答 n=393 n (%)			
これまでに検査を受けなかった理由								
感染が心配になるような行為をしていないから	394 (35.0)	298 (13.8)	867 (51.1)	118 (30.0)	1,677 (31.2)	<0.001		
自分もパートナーもHIV陰性であるから	35 (3.1)	141 (6.5)	44 (2.6)	17 (4.3)	237 (4.4)	<0.001		
頻繁に検査に行く必要性を感じないから	74 (6.6)	185 (8.5)	113 (6.7)	32 (8.1)	404 (7.5)	0.209		
自分のHIV感染の状況を知りたくないから	158 (14.0)	420 (19.4)	132 (7.8)	54 (13.7)	764 (14.2)	<0.001		
近くに検査をする場所がないから	226 (20.1)	538 (24.8)	236 (13.9)	60 (15.3)	1,060 (19.7)	<0.001		
検査に行くとイヤな思いをするから	98 (8.7)	252 (11.6)	107 (6.3)	33 (8.4)	490 (9.1)	<0.001		
検査に行くのが面倒くさいから	338 (30.0)	795 (36.7)	365 (21.5)	105 (26.7)	1,603 (29.8)	<0.001		
忙しく、時間がないから	410 (36.4)	888 (41.0)	383 (22.6)	118 (30.0)	1,799 (33.4)	<0.001		
陽性結果が出たら怖いから	285 (25.3)	633 (29.2)	230 (13.6)	106 (27.0)	1,254 (23.3)	<0.001		
自分はHIVに感染しないと思うから	142 (12.6)	258 (11.9)	159 (9.4)	44 (11.2)	603 (11.2)	0.094		
その他	44 (3.9)	115 (5.3)	71 (4.2)	19 (4.8)	249 (4.6)	0.411		
特に理由はない	145 (12.9)	319 (14.7)	249 (14.7)	68 (17.3)	781 (14.5)	0.357		
受検をすすめられたい人								
MSMの友達	412 (36.6)	771 (35.6)	631 (37.2)	113 (28.8)	1,927 (35.8)	<0.001		
彼氏・パートナー	688 (61.1)	1,475 (68.1)	1,039 (61.2)	250 (63.6)	3,452 (64.1)	<0.001		
セックスフレンド	245 (21.8)	530 (24.5)	292 (17.2)	81 (20.6)	1,148 (21.3)	<0.001		
ネット上の友達	54 (4.8)	97 (4.5)	56 (3.3)	13 (3.3)	220 (4.1)	<0.001		
ゲイバースタッフ	104 (9.2)	210 (9.7)	157 (9.3)	25 (6.4)	496 (9.2)	0.002		
医療者(性感染症)	355 (31.5)	683 (31.5)	466 (27.5)	99 (25.2)	1,603 (29.8)	<0.001		
医療者(その他の診療科)	243 (21.6)	453 (20.9)	317 (18.7)	71 (18.1)	1,084 (20.1)	0.001		
その他	29 (2.6)	78 (3.6)	59 (3.5)	9 (2.3)	175 (3.3)	0.002		
誰でもない(自分で決めたい)	177 (15.7)	292 (13.5)	301 (17.7)	63 (16.0)	833 (15.5)	<0.001		
今後の受検意思						<0.001		
1ヶ月以内に受けたい	44 (3.9)	119 (5.5)	30 (1.8)	18 (4.6)	211 (3.9)			
6ヶ月以内に受けたい	349 (31.0)	734 (33.9)	304 (17.9)	119 (30.3)	1,506 (28.0)			
6ヶ月以内には受けない	733 (65.1)	1,314 (60.6)	1,363 (80.3)	256 (65.1)	3,666 (68.1)			

表34. HIV抗体検査受検経験(居住都道府県別)

居住地	n	HIV抗体検査受検歴					
		検査歴無し		あり(過去1年間無し)		あり(過去1年間あり)	
北海道	538	349	(64.9)	89	(16.5)	100	(18.6)
青森	86	61	(70.9)	11	(12.8)	14	(16.3)
岩手	95	70	(73.7)	14	(14.7)	11	(11.6)
宮城	183	119	(65.0)	29	(15.8)	35	(19.1)
秋田	51	36	(70.6)	6	(11.8)	9	(17.6)
山形	52	30	(57.7)	9	(17.3)	13	(25.0)
福島	116	89	(76.7)	13	(11.2)	14	(12.1)
茨城	158	97	(61.4)	29	(18.4)	32	(20.3)
栃木	103	62	(60.2)	20	(19.4)	21	(20.4)
群馬	70	36	(51.4)	23	(32.9)	11	(15.7)
埼玉	424	238	(56.1)	76	(17.9)	110	(25.9)
千葉	401	235	(58.6)	87	(21.7)	79	(19.7)
東京	1,618	763	(47.2)	378	(23.4)	477	(29.5)
神奈川	626	347	(55.4)	147	(23.5)	132	(21.1)
新潟	81	50	(61.7)	15	(18.5)	16	(19.8)
富山	28	16	(57.1)	3	(10.7)	9	(32.1)
石川	48	29	(60.4)	9	(18.8)	10	(20.8)
福井	32	26	(81.3)	2	(6.3)	4	(12.5)
山梨	29	20	(69.0)	6	(20.7)	3	(10.3)
長野	92	52	(56.5)	19	(20.7)	21	(22.8)
岐阜	87	40	(46.0)	17	(19.5)	30	(34.5)
静岡	176	104	(59.1)	23	(13.1)	49	(27.8)
愛知	462	251	(54.3)	96	(20.8)	115	(24.9)
三重	81	44	(54.3)	15	(18.5)	22	(27.2)
滋賀	77	50	(64.9)	17	(22.1)	10	(13.0)
京都	177	108	(61.0)	24	(13.6)	45	(25.4)
大阪	735	356	(48.4)	158	(21.5)	221	(30.1)
兵庫	348	197	(56.6)	66	(19.0)	85	(24.4)
奈良	59	34	(57.6)	9	(15.3)	16	(27.1)
和歌山	41	26	(63.4)	7	(17.1)	8	(19.5)
鳥取	24	14	(58.3)	2	(8.3)	8	(33.3)
島根	38	28	(73.7)	4	(10.5)	6	(15.8)
岡山	110	65	(59.1)	27	(24.5)	18	(16.4)
広島	187	116	(62.0)	32	(17.1)	39	(20.9)
山口	93	51	(54.8)	18	(19.4)	24	(25.8)
徳島	38	25	(65.8)	6	(15.8)	7	(18.4)
香川	70	40	(57.1)	14	(20.0)	16	(22.9)
愛媛	71	48	(67.6)	16	(22.5)	7	(9.9)
高知	37	20	(54.1)	6	(16.2)	11	(29.7)
福岡	607	351	(57.8)	115	(18.9)	141	(23.2)
佐賀	73	51	(69.9)	6	(8.2)	16	(21.9)
長崎	109	70	(64.2)	19	(17.4)	20	(18.3)
熊本	139	83	(59.7)	25	(18.0)	31	(22.3)
大分	94	67	(71.3)	13	(13.8)	14	(14.9)
宮崎	79	52	(65.8)	13	(16.5)	14	(17.7)
鹿児島	124	76	(61.3)	21	(16.9)	27	(21.8)
沖縄	180	106	(58.9)	34	(18.9)	40	(22.2)
無回答	284	185	(65.1)	49	(17.3)	50	(17.6)
合計	9,431	5,383	(57.1)	1,837	(19.5)	2,211	(23.4)

表35. HIVおよびその他の性感染症診断歴、MSMにおけるHIV/AIDS流行に関する認知(居住都道府県別)

居住地	n	HIV感染	いずれかの性感染症 (HIVを除く)		わが国のMSMにおけるHIV/AIDSに関して						
					メディア曝露あり		話題に出した		流行認識あり		
北海道	549	11	(2.0)	68	(12.4)	166	(30.2)	130	(23.7)	311	(56.6)
青森	90	4	(4.4)	19	(21.1)	24	(26.7)	22	(24.4)	57	(63.3)
岩手	99	4	(4.0)	13	(13.1)	27	(27.3)	19	(19.2)	50	(50.5)
宮城	191	8	(4.2)	39	(20.4)	65	(34.0)	39	(20.4)	114	(59.7)
秋田	52	1	(1.9)	4	(7.7)	18	(34.6)	11	(21.2)	28	(53.8)
山形	53	1	(1.9)	8	(15.1)	19	(35.8)	11	(20.8)	31	(58.5)
福島	118	2	(1.7)	12	(10.2)	40	(33.9)	23	(19.5)	66	(55.9)
茨城	162	4	(2.5)	37	(22.8)	52	(32.1)	46	(28.4)	89	(54.9)
栃木	105	2	(1.9)	21	(20.0)	29	(27.6)	29	(27.6)	58	(55.2)
群馬	73	3	(4.1)	10	(13.7)	22	(30.1)	23	(31.5)	47	(64.4)
埼玉	452	28	(6.2)	92	(20.4)	154	(34.1)	140	(31.0)	253	(56.0)
千葉	421	20	(4.8)	69	(16.4)	123	(29.2)	110	(26.1)	253	(60.1)
東京	1,736	118	(6.8)	451	(26.0)	687	(39.6)	665	(38.3)	1,137	(65.5)
神奈川	652	26	(4.0)	115	(17.6)	217	(33.3)	207	(31.7)	396	(60.7)
新潟	85	4	(4.7)	17	(20.0)	30	(35.3)	27	(31.8)	42	(49.4)
富山	29	1	(3.4)	6	(20.7)	9	(31.0)	10	(34.5)	22	(75.9)
石川	49	1	(2.0)	5	(10.2)	12	(24.5)	12	(24.5)	31	(63.3)
福井	33	1	(3.0)	6	(18.2)	14	(42.4)	15	(45.5)	19	(57.6)
山梨	30	1	(3.3)	4	(13.3)	5	(16.7)	7	(23.3)	18	(60.0)
長野	93	1	(1.1)	13	(14.0)	29	(31.2)	24	(25.8)	62	(66.7)
岐阜	89	2	(2.2)	15	(16.9)	35	(39.3)	34	(38.2)	58	(65.2)
静岡	180	4	(2.2)	32	(17.8)	51	(28.3)	50	(27.8)	91	(50.6)
愛知	486	24	(4.9)	71	(14.6)	163	(33.5)	152	(31.3)	297	(61.1)
三重	82	1	(1.2)	11	(13.4)	21	(25.6)	22	(26.8)	49	(59.8)
滋賀	78	1	(1.3)	14	(17.9)	23	(29.5)	13	(16.7)	45	(57.7)
京都	185	8	(4.3)	30	(16.2)	70	(37.8)	59	(31.9)	119	(64.3)
大阪	808	73	(9.0)	200	(24.8)	292	(36.1)	282	(34.9)	523	(64.7)
兵庫	364	16	(4.4)	75	(20.6)	122	(33.5)	99	(27.2)	225	(61.8)
奈良	60	1	(1.7)	6	(10.0)	17	(28.3)	15	(25.0)	33	(55.0)
和歌山	44	3	(6.8)	6	(13.6)	12	(27.3)	7	(15.9)	22	(50.0)
鳥取	25	1	(4.0)	6	(24.0)	8	(32.0)	5	(20.0)	17	(68.0)
島根	38	0	(0.0)	5	(13.2)	12	(31.6)	11	(28.9)	18	(47.4)
岡山	116	6	(5.2)	24	(20.7)	46	(39.7)	35	(30.2)	73	(62.9)
広島	189	2	(1.1)	28	(14.8)	64	(33.9)	51	(27.0)	112	(59.3)
山口	95	2	(2.1)	7	(7.4)	26	(27.4)	25	(26.3)	70	(73.7)
徳島	38	0	(0.0)	6	(15.8)	11	(28.9)	4	(10.5)	17	(44.7)
香川	72	2	(2.8)	18	(25.0)	28	(38.9)	19	(26.4)	41	(56.9)
愛媛	71	0	(0.0)	8	(11.3)	21	(29.6)	18	(25.4)	36	(50.7)
高知	37	0	(0.0)	6	(16.2)	9	(24.3)	9	(24.3)	19	(51.4)
福岡	623	16	(2.6)	120	(19.3)	195	(31.3)	176	(28.3)	355	(57.0)
佐賀	73	0	(0.0)	6	(8.2)	14	(19.2)	18	(24.7)	37	(50.7)
長崎	112	3	(2.7)	10	(8.9)	38	(33.9)	33	(29.5)	66	(58.9)
熊本	140	1	(0.7)	22	(15.7)	54	(38.6)	39	(27.9)	91	(65.0)
大分	97	3	(3.1)	19	(19.6)	25	(25.8)	18	(18.6)	70	(72.2)
宮崎	80	1	(1.3)	10	(12.5)	29	(36.3)	11	(13.8)	43	(53.8)
鹿児島	126	2	(1.6)	28	(22.2)	62	(49.2)	37	(29.4)	78	(61.9)
沖縄	184	4	(2.2)	22	(12.0)	74	(40.2)	56	(30.4)	130	(70.7)
無回答	293	9	(3.1)	38	(13.0)	93	(31.7)	63	(21.5)	172	(58.7)
合計	9,857	426	(4.3)	1,852	(18.8)	3,357	(34.1)	2,931	(29.7)	5,991	(60.8)

表36. HIV検査受検場所(居住都道府県別)

居住地	n	検査場所(過去1年間)													
		保健所・ 保健センター		病院・診療所		南新宿検査・ 相談室		夜間検査		土曜検査		休日検査		検査イベント	
北海道	100	50	(50.0)	29	(29.0)	2	(2.0)	2	(2.0)	9	(9.0)	2	(2.0)	5	(5.0)
青森	14	9	(64.3)	2	(14.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(21.4)	0	(0.0)
岩手	11	6	(54.5)	2	(18.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(18.2)	0	(0.0)	0	(0.0)
宮城	35	21	(60.0)	6	(17.1)	0	(0.0)	5	(14.3)	3	(8.6)	1	(2.9)	3	(8.6)
秋田	9	8	(88.9)	2	(22.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
山形	13	11	(84.6)	1	(7.7)	0	(0.0)	1	(7.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
福島	14	6	(42.9)	3	(21.4)	0	(0.0)	1	(7.1)	2	(14.3)	0	(0.0)	1	(7.1)
茨城	32	18	(56.3)	11	(34.4)	1	(3.1)	2	(6.3)	1	(3.1)	2	(6.3)	1	(3.1)
栃木	21	16	(76.2)	6	(28.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(14.3)
群馬	11	7	(63.6)	3	(27.3)	0	(0.0)	1	(9.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
埼玉	110	53	(48.2)	40	(36.4)	12	(10.9)	3	(2.7)	4	(3.6)	5	(4.5)	8	(7.3)
千葉	79	42	(53.2)	30	(38.0)	4	(5.1)	1	(1.3)	0	(0.0)	5	(6.3)	13	(16.5)
東京	477	198	(41.5)	186	(39.0)	94	(19.7)	7	(1.5)	15	(3.1)	12	(2.5)	28	(5.9)
神奈川	132	56	(42.4)	39	(29.5)	8	(6.1)	3	(2.3)	8	(6.1)	12	(9.1)	25	(18.9)
新潟	16	13	(81.3)	4	(25.0)	0	(0.0)	2	(12.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(18.8)
富山	9	8	(88.9)	2	(22.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
石川	10	9	(90.0)	1	(10.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
福井	4	4	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
山梨	3	3	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
長野	21	10	(47.6)	13	(61.9)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(4.8)	0	(0.0)
岐阜	30	16	(53.3)	10	(33.3)	0	(0.0)	3	(10.0)	2	(6.7)	3	(10.0)	5	(16.7)
静岡	49	38	(77.6)	5	(10.2)	1	(2.0)	3	(6.1)	3	(6.1)	0	(0.0)	8	(16.3)
愛知	115	77	(67.0)	22	(19.1)	0	(0.0)	4	(3.5)	3	(2.6)	6	(5.2)	26	(22.6)
三重	22	10	(45.5)	7	(31.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(4.5)	3	(13.6)
滋賀	10	2	(20.0)	4	(40.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(10.0)	1	(10.0)
京都	45	29	(64.4)	11	(24.4)	0	(0.0)	3	(6.7)	1	(2.2)	2	(4.4)	3	(6.7)
大阪	221	127	(57.5)	71	(32.1)	0	(0.0)	16	(7.2)	9	(4.1)	15	(6.8)	19	(8.6)
兵庫	85	48	(56.5)	26	(30.6)	0	(0.0)	8	(9.4)	4	(4.7)	7	(8.2)	4	(4.7)
奈良	16	11	(68.8)	4	(25.0)	0	(0.0)	1	(6.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.3)
和歌山	8	4	(50.0)	4	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
鳥取	8	5	(62.5)	4	(50.0)	0	(0.0)	1	(12.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
島根	6	3	(50.0)	2	(33.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
岡山	18	12	(66.7)	7	(38.9)	0	(0.0)	2	(11.1)	0	(0.0)	1	(5.6)	1	(5.6)
広島	39	22	(56.4)	12	(30.8)	0	(0.0)	1	(2.6)	0	(0.0)	4	(10.3)	5	(12.8)
山口	24	18	(75.0)	6	(25.0)	0	(0.0)	1	(4.2)	1	(4.2)	1	(4.2)	1	(4.2)
徳島	7	4	(57.1)	1	(14.3)	1	(14.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
香川	16	7	(43.8)	6	(37.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.3)	2	(12.5)
愛媛	7	6	(85.7)	2	(28.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(14.3)	0	(0.0)	0	(0.0)
高知	11	9	(81.8)	1	(9.1)	0	(0.0)	2	(18.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
福岡	141	98	(69.5)	37	(26.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	7	(5.0)	8	(5.7)
佐賀	16	15	(93.8)	1	(6.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.3)	1	(6.3)
長崎	20	14	(70.0)	4	(20.0)	0	(0.0)	1	(5.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(5.0)
熊本	31	23	(74.2)	7	(22.6)	0	(0.0)	1	(3.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(3.2)
大分	14	10	(71.4)	3	(21.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)
宮崎	14	11	(78.6)	3	(21.4)	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)
鹿児島	27	20	(74.1)	7	(25.9)	0	(0.0)	1	(3.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
沖縄	40	33	(82.5)	7	(17.5)	0	(0.0)	1	(2.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(10.0)
無回答	50	32	(64.0)	13	(26.0)	1	(2.0)	1	(2.0)	2	(4.0)	1	(2.0)	1	(2.0)
合計	2,211	1,252	(56.6)	667	(30.2)	124	(5.6)	79	(3.6)	70	(3.2)	96	(4.3)	185	(8.4)

表37. HIV検査を受検した友人・知人およびHIV陽性者の友人・知人(居住都道府県別)

居住地	n	HIV検査を受検した知人・友人(過去6ヶ月間)				HIV陽性者の知人・友人			
		5人以上	2-4人	1人	0人	5人以上	2-4人	1人	0人
北海道	549	17 (3.1)	58 (10.6)	53 (9.7)	81 (14.8)	8 (1.5)	30 (5.5)	34 (6.2)	217 (39.5)
青森	90	2 (2.2)	5 (5.6)	12 (13.3)	9 (10.0)	2 (2.2)	4 (4.4)	9 (10.0)	26 (28.9)
岩手	99	1 (1.0)	14 (14.1)	10 (10.1)	14 (14.1)	1 (1.0)	3 (3.0)	5 (5.1)	33 (33.3)
宮城	191	4 (2.1)	21 (11.0)	21 (11.0)	26 (13.6)	4 (2.1)	13 (6.8)	18 (9.4)	73 (38.2)
秋田	52	1 (1.9)	8 (15.4)	8 (15.4)	8 (15.4)	0 (0.0)	1 (1.9)	5 (9.6)	23 (44.2)
山形	53	2 (3.8)	7 (13.2)	7 (13.2)	8 (15.1)	2 (3.8)	4 (7.5)	5 (9.4)	11 (20.8)
福島	118	3 (2.5)	12 (10.2)	8 (6.8)	22 (18.6)	0 (0.0)	1 (0.8)	10 (8.5)	55 (46.6)
茨城	162	5 (3.1)	14 (8.6)	21 (13.0)	21 (13.0)	0 (0.0)	12 (7.4)	14 (8.6)	56 (34.6)
栃木	105	5 (4.8)	15 (14.3)	9 (8.6)	16 (15.2)	0 (0.0)	10 (9.5)	6 (5.7)	32 (30.5)
群馬	73	1 (1.4)	12 (16.4)	7 (9.6)	12 (16.4)	4 (5.5)	3 (4.1)	10 (13.7)	20 (27.4)
埼玉	452	23 (5.1)	75 (16.6)	45 (10.0)	65 (14.4)	8 (1.8)	35 (7.7)	47 (10.4)	166 (36.7)
千葉	421	11 (2.6)	64 (15.2)	50 (11.9)	45 (10.7)	13 (3.1)	23 (5.5)	40 (9.5)	147 (34.9)
東京	1,736	99 (5.7)	320 (18.4)	185 (10.7)	171 (9.9)	74 (4.3)	224 (12.9)	227 (13.1)	512 (29.5)
神奈川	652	25 (3.8)	112 (17.2)	70 (10.7)	85 (13.0)	13 (2.0)	51 (7.8)	57 (8.7)	221 (33.9)
新潟	85	2 (2.4)	6 (7.1)	13 (15.3)	17 (20.0)	1 (1.2)	1 (1.2)	4 (4.7)	37 (43.5)
富山	29	1 (3.4)	2 (6.9)	7 (24.1)	4 (13.8)	0 (0.0)	1 (3.4)	4 (13.8)	11 (37.9)
石川	49	2 (4.1)	6 (12.2)	3 (6.1)	3 (6.1)	0 (0.0)	2 (4.1)	5 (10.2)	14 (28.6)
福井	33	2 (6.1)	6 (18.2)	4 (12.1)	3 (9.1)	1 (3.0)	3 (9.1)	1 (3.0)	8 (24.2)
山梨	30	1 (3.3)	6 (20.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	0 (0.0)	1 (3.3)	2 (6.7)	7 (23.3)
長野	93	0 (0.0)	13 (14.0)	13 (14.0)	14 (15.1)	2 (2.2)	1 (1.1)	11 (11.8)	34 (36.6)
岐阜	89	5 (5.6)	13 (14.6)	13 (14.6)	10 (11.2)	2 (2.2)	4 (4.5)	10 (11.2)	26 (29.2)
静岡	180	7 (3.9)	26 (14.4)	20 (11.1)	25 (13.9)	1 (0.6)	11 (6.1)	17 (9.4)	60 (33.3)
愛知	486	23 (4.7)	70 (14.4)	40 (8.2)	47 (9.7)	13 (2.7)	36 (7.4)	43 (8.8)	158 (32.5)
三重	82	3 (3.7)	15 (18.3)	6 (7.3)	9 (11.0)	1 (1.2)	5 (6.1)	7 (8.5)	20 (24.4)
滋賀	78	4 (5.1)	10 (12.8)	9 (11.5)	11 (14.1)	2 (2.6)	4 (5.1)	4 (5.1)	30 (38.5)
京都	185	6 (3.2)	25 (13.5)	20 (10.8)	26 (14.1)	1 (0.5)	8 (4.3)	17 (9.2)	65 (35.1)
大阪	808	39 (4.8)	112 (13.9)	86 (10.6)	98 (12.1)	35 (4.3)	80 (9.9)	81 (10.0)	251 (31.1)
兵庫	364	9 (2.5)	61 (16.8)	33 (9.1)	42 (11.5)	5 (1.4)	20 (5.5)	40 (11.0)	113 (31.0)
奈良	60	1 (1.7)	7 (11.7)	8 (13.3)	12 (20.0)	1 (1.7)	0 (0.0)	6 (10.0)	24 (40.0)
和歌山	44	1 (2.3)	5 (11.4)	3 (6.8)	10 (22.7)	0 (0.0)	1 (2.3)	3 (6.8)	16 (36.4)
鳥取	25	0 (0.0)	3 (12.0)	3 (12.0)	9 (36.0)	0 (0.0)	6 (24.0)	2 (8.0)	12 (48.0)
島根	38	0 (0.0)	4 (10.5)	4 (10.5)	7 (18.4)	0 (0.0)	6 (15.8)	1 (2.6)	17 (44.7)
岡山	116	3 (2.6)	15 (12.9)	13 (11.2)	14 (12.1)	3 (2.6)	3 (2.6)	10 (8.6)	51 (44.0)
広島	189	8 (4.2)	19 (10.1)	16 (8.5)	27 (14.3)	4 (2.1)	11 (5.8)	13 (6.9)	62 (32.8)
山口	95	5 (5.3)	9 (9.5)	15 (15.8)	13 (13.7)	2 (2.1)	3 (3.2)	6 (6.3)	33 (34.7)
徳島	38	3 (7.9)	6 (15.8)	2 (5.3)	2 (5.3)	0 (0.0)	2 (5.3)	3 (7.9)	10 (26.3)
香川	72	1 (1.4)	11 (15.3)	7 (9.7)	14 (19.4)	0 (0.0)	3 (4.2)	2 (2.8)	35 (48.6)
愛媛	71	2 (2.8)	5 (7.0)	3 (4.2)	11 (15.5)	0 (0.0)	2 (2.8)	4 (5.6)	20 (28.2)
高知	37	1 (2.7)	2 (5.4)	2 (5.4)	5 (13.5)	0 (0.0)	2 (5.4)	1 (2.7)	17 (45.9)
福岡	623	21 (3.4)	86 (13.8)	60 (9.6)	80 (12.8)	10 (1.6)	37 (5.9)	52 (8.3)	204 (32.7)
佐賀	73	1 (1.4)	12 (16.4)	4 (5.5)	8 (11.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	5 (6.8)	30 (41.1)
長崎	112	3 (2.7)	19 (17.0)	10 (8.9)	15 (13.4)	1 (0.9)	2 (1.8)	12 (10.7)	37 (33.0)
熊本	140	3 (2.1)	18 (12.9)	14 (10.0)	23 (16.4)	1 (0.7)	8 (5.7)	6 (4.3)	55 (39.3)
大分	97	2 (2.1)	7 (7.2)	12 (12.4)	14 (14.4)	3 (3.1)	4 (4.1)	8 (8.2)	34 (35.1)
宮崎	80	1 (1.3)	8 (10.0)	7 (8.8)	9 (11.3)	1 (1.3)	3 (3.8)	2 (2.5)	26 (32.5)
鹿児島	126	4 (3.2)	17 (13.5)	14 (11.1)	17 (13.5)	2 (1.6)	7 (5.6)	8 (6.3)	44 (34.9)
沖縄	184	9 (4.9)	27 (14.7)	21 (11.4)	20 (10.9)	2 (1.1)	12 (6.5)	15 (8.2)	59 (32.1)
無回答	293	2 (0.7)	32 (10.9)	24 (8.2)	43 (14.7)	5 (1.7)	10 (3.4)	16 (5.5)	106 (36.2)
合計	9,857	374 (3.8)	1,420 (14.4)	1,015 (10.3)	1,247 (12.7)	229 (2.3)	713 (7.2)	908 (9.2)	3,318 (33.7)

表38. 性的指向のカミングアウト(居住都道府県別)

居住地	n	親へのカミングアウト					家族以外の異性愛者へのカミングアウト	
		していない	両親ともに	母親のみ	父親のみ	親はいない	している	していない
北海道	549	449 (81.8)	35 (6.4)	30 (5.5)	3 (0.5)	28 (5.1)	199 (36.2)	346 (63.0)
青森	90	73 (81.1)	4 (4.4)	4 (4.4)	0 (0.0)	8 (8.9)	38 (42.2)	52 (57.8)
岩手	99	85 (85.9)	8 (8.1)	3 (3.0)	0 (0.0)	3 (3.0)	28 (28.3)	71 (71.7)
宮城	191	166 (86.9)	5 (2.6)	9 (4.7)	0 (0.0)	11 (5.8)	55 (28.8)	134 (70.2)
秋田	52	42 (80.8)	4 (7.7)	2 (3.8)	0 (0.0)	4 (7.7)	14 (26.9)	38 (73.1)
山形	53	46 (86.8)	2 (3.8)	2 (3.8)	0 (0.0)	2 (3.8)	15 (28.3)	38 (71.7)
福島	118	102 (86.4)	6 (5.1)	5 (4.2)	0 (0.0)	5 (4.2)	43 (36.4)	74 (62.7)
茨城	162	131 (80.9)	16 (9.9)	7 (4.3)	2 (1.2)	6 (3.7)	63 (38.9)	99 (61.1)
栃木	105	81 (77.1)	8 (7.6)	8 (7.6)	4 (3.8)	4 (3.8)	43 (41.0)	62 (59.0)
群馬	73	52 (71.2)	5 (6.8)	7 (9.6)	0 (0.0)	9 (12.3)	33 (45.2)	40 (54.8)
埼玉	452	369 (81.6)	41 (9.1)	26 (5.8)	1 (0.2)	15 (3.3)	189 (41.8)	260 (57.5)
千葉	421	338 (80.3)	34 (8.1)	32 (7.6)	1 (0.2)	15 (3.6)	197 (46.8)	222 (52.7)
東京	1,736	1,334 (76.6)	156 (9.0)	145 (8.4)	6 (0.3)	94 (5.4)	843 (48.6)	888 (51.2)
神奈川	652	506 (77.6)	59 (9.0)	52 (8.0)	4 (0.6)	29 (4.4)	284 (43.6)	366 (56.1)
新潟	85	70 (82.4)	5 (5.9)	4 (4.7)	1 (1.2)	5 (5.9)	29 (34.1)	56 (65.9)
富山	29	25 (86.2)	1 (3.4)	2 (6.9)	0 (0.0)	1 (3.4)	8 (27.6)	21 (72.4)
石川	49	37 (75.5)	4 (8.2)	4 (8.2)	1 (2.0)	2 (4.1)	9 (18.4)	40 (81.6)
福井	33	29 (87.9)	1 (3.0)	2 (6.1)	0 (0.0)	1 (3.0)	10 (30.3)	23 (69.7)
山梨	30	21 (70.0)	4 (13.3)	3 (10.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	13 (43.3)	17 (56.7)
長野	93	75 (80.6)	8 (8.6)	6 (6.5)	0 (0.0)	4 (4.3)	35 (37.6)	58 (62.4)
岐阜	89	67 (75.3)	8 (9.0)	9 (10.1)	1 (1.1)	4 (4.5)	40 (44.9)	47 (52.8)
静岡	180	149 (82.8)	10 (5.6)	12 (6.7)	4 (2.2)	4 (2.2)	69 (38.3)	109 (60.6)
愛知	486	398 (81.9)	38 (7.8)	27 (5.6)	4 (0.8)	18 (3.7)	175 (36.0)	308 (63.4)
三重	82	66 (80.5)	8 (9.8)	7 (8.5)	0 (0.0)	1 (1.2)	29 (35.4)	52 (63.4)
滋賀	78	61 (78.2)	5 (6.4)	6 (7.7)	0 (0.0)	6 (7.7)	23 (29.5)	55 (70.5)
京都	185	151 (81.6)	13 (7.0)	10 (5.4)	0 (0.0)	8 (4.3)	71 (38.4)	114 (61.6)
大阪	808	619 (76.6)	85 (10.5)	63 (7.8)	10 (1.2)	30 (3.7)	360 (44.6)	445 (55.1)
兵庫	364	299 (82.1)	23 (6.3)	30 (8.2)	0 (0.0)	10 (2.7)	137 (37.6)	225 (61.8)
奈良	60	50 (83.3)	3 (5.0)	6 (10.0)	0 (0.0)	1 (1.7)	25 (41.7)	35 (58.3)
和歌山	44	38 (86.4)	2 (4.5)	4 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (31.8)	30 (68.2)
鳥取	25	21 (84.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	0 (0.0)	1 (4.0)	9 (36.0)	16 (64.0)
島根	38	30 (78.9)	4 (10.5)	1 (2.6)	1 (2.6)	2 (5.3)	12 (31.6)	26 (68.4)
岡山	116	90 (77.6)	9 (7.8)	11 (9.5)	0 (0.0)	5 (4.3)	38 (32.8)	76 (65.5)
広島	189	148 (78.3)	13 (6.9)	14 (7.4)	0 (0.0)	13 (6.9)	72 (38.1)	117 (61.9)
山口	95	78 (82.1)	9 (9.5)	6 (6.3)	0 (0.0)	2 (2.1)	35 (36.8)	60 (63.2)
徳島	38	28 (73.7)	4 (10.5)	4 (10.5)	0 (0.0)	1 (2.6)	17 (44.7)	20 (52.6)
香川	72	64 (88.9)	1 (1.4)	4 (5.6)	2 (2.8)	1 (1.4)	30 (41.7)	42 (58.3)
愛媛	71	60 (84.5)	3 (4.2)	3 (4.2)	0 (0.0)	5 (7.0)	23 (32.4)	47 (66.2)
高知	37	31 (83.8)	1 (2.7)	2 (5.4)	0 (0.0)	3 (8.1)	12 (32.4)	25 (67.6)
福岡	623	514 (82.5)	38 (6.1)	34 (5.5)	3 (0.5)	30 (4.8)	236 (37.9)	385 (61.8)
佐賀	73	67 (91.8)	0 (0.0)	3 (4.1)	0 (0.0)	3 (4.1)	18 (24.7)	55 (75.3)
長崎	112	94 (83.9)	7 (6.3)	4 (3.6)	1 (0.9)	5 (4.5)	35 (31.3)	76 (67.9)
熊本	140	119 (85.0)	4 (2.9)	10 (7.1)	2 (1.4)	5 (3.6)	49 (35.0)	90 (64.3)
大分	97	85 (87.6)	4 (4.1)	5 (5.2)	0 (0.0)	3 (3.1)	29 (29.9)	68 (70.1)
宮崎	80	70 (87.5)	7 (8.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (3.8)	23 (28.8)	57 (71.3)
鹿児島	126	111 (88.1)	7 (5.6)	3 (2.4)	0 (0.0)	5 (4.0)	45 (35.7)	81 (64.3)
沖縄	184	141 (76.6)	20 (10.9)	16 (8.7)	0 (0.0)	7 (3.8)	89 (48.4)	91 (49.5)
無回答	293	239 (81.6)	18 (6.1)	21 (7.2)	1 (0.3)	8 (2.7)	102 (34.8)	182 (62.1)
合計	9,857	7,919 (80.3)	751 (7.6)	670 (6.8)	52 (0.5)	432 (4.4)	3,965 (40.2)	5,839 (59.2)

保健師におけるセクシュアリティ理解と援助スキル開発に関する研究

研究分担者：和木 明日香（千里金蘭大学看護学部）

研究協力者：西村 由実子（関西看護医療大学）

岩井 美詠子（個人事務所ダブルアイズ代表）

研究代表者：日高 庸晴（宝塚大学看護学部）

研究要旨

本研究の目的は、保健所等に勤務する保健師を対象に、セクシュアリティ理解を促進し、HIV 検査現場での援助スキルを向上させることを目的とした教育プログラムを開発・提供し、我が国における MSM に対する HIV 予防対策の強化に貢献することである。初年度の平成 23 年度は、近畿圏の全保健師を対象として、セクシュアリティに対する意識、今後の教育研修に対するニーズ等を明らかにすることを目的とした実態調査を実施した。本年度は、得られた知見を踏まえ、教育プログラムを開発することを目的として研究事業を行った。以下に本年度の結果を示す。

- ・ 平成 23 年度の調査結果、これまでの HIV 関連の研修実施状況などを踏まえ、MSM 理解促進と陽性告知の支援能力をテーマとする 1 日研修を企画し、近畿圏の自治体の協力を得て 4 回実施した。延べ 69 名の参加が得られた。
- ・ 研修の効果測定のために、研修あり群・研修なし群（同じ保健所に勤務する保健師）の保健師に対し、研修前後・研修 1 ヶ月後・3 ヶ月後の質問紙調査を実施した。
- ・ 研修の効果として、MSM の受検者（相談者）への対応の自信が、「ある」と回答したものが、研修前 15.4%、研修後 33.3%、1 ヶ月後 30.8% で群内に持続した効果が確認され、研修なし群と比較しても有意な差があり、研修の MSM 相談者への対応の自信への効果が証明された。
- ・ 参加した保健師の変化として「じっくり話を聴くようになった」と前向きな行動をとっているものもいる。また、「告知マニュアルの作成を始めた」など利用者が求めるものや提供することを考えて行動に移しているものもいた。

A. 研究目的

2011 年に全国の保健所等で実施された HIV 検査の数は 131,243 件であった。日本における HIV の感染に対する脆弱性が高いグループである MSM (Men who have sex with men) の間でこの検査の認知度は高く、受検経験のある者の 5 割以上が利用している。また、HIV 感染者の 68.4% が同性間性的接触による感染であった。このため、保健所において MSM が受診しやすい検査環境・MSM の陽性者への支援体

制を整備していくことが課題である。

HIV 抗体検査や HIV 陽性者支援には、専門的な対応が必要であるが、それらの業務にあたる現場の保健師は、HIV 検査対応や多様な性に関する相談等の援助、さらに HIV 陽性者への対応について、専門的な教育を受けていない場合が多い。本研究の目的は、保健所等に勤務する保健師を対象として、セクシュアリティ理解を促進し、HIV 検査現場での援助スキルを向上させることを目的とした教育プログラムを開発・

提供し、日本における MSM に対する HIV 予防対策の強化に貢献することである。昨年度は近畿 2 府 4 県の保健師の HIV 関連業務の現状や問題点を把握するために、保健所勤務の保健師約 1,500 名を対象に質問紙調査を実施した。本年度はその知見やこれまでの先行研修の実施状況を踏まえ、研修プログラム策定・実施し、その効果を測定することを目的とする。数多くの HIV 研修が日本国内で行われているが、本研究により MSM セクシュアリティ理解促進と HIV 抗体検査業務の場でのスキル向上を目指す研修プログラムを開発し、パッケージ化することで、保健師の HIV 予防対策の質の向上を図ることを目指す。

B. 研究方法

本年度は 1. 研修プログラムの策定、2. 研修実施とその効果測定の 2 点を実施した。

1. 研修プログラムの策定

研修プログラムは、前年度の質問紙調査の知見に加えて、HP や報告書等を検索し、既存の HIV 関連研修の実施内容の検討を行った。またこれらの研修を先駆的に実施している NPO 法人関係者や CBO メンバー、行政関係者、保健師等に研修テーマや内容についての専門的助言を受け、立案に反映させた。

2. 研修実施とその効果測定

1) 研究デザインおよび期間

比較対象群ありプレポストデザイン研究とし（研修あり群・非実施群）研修前後・研修後 1、3 ヶ月の評価を無記名自記式質問票を用いて実施した。

2) 対象者

対象者は研修に協力の得られた自治体・関連機関に所属する常勤の保健師である。研修に参加した保健師を研修あり群とし、研修に参加協力が得られた保健所・関連機関で、研修に参加しない保健師を研修なし群とした。

3) 質問票の内容と配布回収方法

質問票の構成は下記の通りである。自記式質問紙を、研修に参加する保健師の所属する保健所等に送付した。担当者を通じて、研修あり群保健師、研修なし群保健師に配布した。各保健師は回答後、回収用封筒に入れ、担当者によって回収され研究班に返送された。研修前後・1 ヶ月後、3 ヶ月後の 3 回送付し、各回ごとに返送された。

①基本属性

②MSM 対応について：

- ・ MSM に対する態度 既存尺度 Index of Homophobia (IHP)の日本語版 (JIHP)
- ・ MSM 対応の自己効力感
- ・ MSM の知識などを問う質問（昨年度調査の他職種調査との共通項目、他の研修で実施している質問紙との共通項目）

③陽性告知時支援：

- ・ HIV や陽性者支援に関する基礎知識
- ・ 陽性告知への支援の態度、支援の自己効力感などを問う質問

4) 倫理的配慮

本研究は千里金蘭大学疫学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

本研究の実施は、世界医師会ヘルシンキ宣言（2008 年ソウル改訂）の趣旨に沿い、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針（平成 20 年 7 月 31 日全部改正）」及び文部科学省・厚生労働省「疫学的研究に関する倫理指針（平成 20 年 12 月 1 日一部改正）」に準拠して、倫理的配慮を行った。

①研修は、セクシュアリティや個人の性への価値観に関する内容を含むため、研修の際、参加者の個人情報の保護、個人の考えを尊重することを保障することを示すグラウンドルールを講師・参加者とで共有した。

②研究協力の任意性を保障し、答えたくない質問には答えなくて良いことを説明同意文書に記載し、同意をした者のみに質問紙への回答

に協力してもらった。研究期間・終了後のデータの厳重な管理を行った。

③質問紙の個人情報の保護のために、初回質問時調査実施時にID番号の記入されたシールを配布し、そのシールを調査実施の際に質問紙に貼ることで連結不可能特定化を行った。

④各回の調査実施時に100円程度の謝礼を配布した。

5) 分析方法

統計解析には、IBM SPSS Statistics 20を使用した。データクリーニング後、記述的統計解析と全変数の単純集計を行った。連続変数とみなせる回答については、変化量（前後、前1ヶ月、後1ヶ月）の群間（研修あり・なし）比較のT検定、群内（研修あり・なし）で、平均値の対応あり（ペア）T検定（前後、前）を行った。カテゴリ変数については、群内（研修あり・なし）で、対応サンプルMcNemar検定を行った。さらに、1ヶ月、後1ヶ月全保健師のMSMへの対応自信と陽性告知時の対応自信を従属変数として各種変数とのクロス集計を行った。研修後、1ヶ月後の研修あり群の質問紙自由記載については、定性的分析法で分析を行った。

C. 結果

C-1. 研修プログラムの策定

1) 前年度調査結果

前年度調査結果より、HIV/AIDSに対する苦手意識とセクシュアリティ、HIVに関する知識得点、同性愛者の対応経験がないことなどが関連していることが明らかになった。保健師養成課程でもセクシュアリティについて学んだものは12.1%と、教育現場での学習の機会も十分ではないことが示唆された。

さらに、HIV検査担当者においては、対応時間や説明内容にかなりばらつきがあることが分かり、MSMのHIV検査受験者への予防的支援を強化するために、担当保健師の予防的支援を

強化するためのスキル形成が必要であることが示唆された。

2) 日本国内・海外での研修の実施状況

日本国内では、検査相談に必要な知識や対応、陽性結果通知時の対応など、抗体検査やHIVの知識、支援制度を取り上げるものが実施されていた。対象者を検査相談に従事するもの、陽性者支援に関わるもの、経験によって対象者を限定するものもあった。多くは1日から2日研修の形態を取っている。ロールプレイ演習やグループワークを取り入れるものもあった。

海外における研究では、看護学生や病棟看護師向けのHIV理解促進、MSM理解促進や陽性者とのグループワークを行うものもあった。抗体検査実施スタッフへの動機付け面接法の研修を実施している先行研究も存在したが、半日～1日の研修でその効果を挙げられているものは存在しなかった。

3) NPO法人関係者等の専門的助言

これまで先駆的にHIV研修を実施している専門家や関西圏の行政関係者や保健師にヒアリングを実施した。以下の助言を得た。

【MSMについて】

○抗体検査面接のスキルを上げることよりも、保健師にとってMSMが身近でないことから、その距離感を減ずる、存在を可視化する取り組みが必要である。

○関西のMSMの健康問題として、薬物問題も挙げられる。保健師のMSMの抱える健康問題の理解促進も必要である。

【HIV関連業務について】

○保健師は、予防と陽性者支援の視点の両方を持つ必要がある。

○HIV検査や陽性者支援の場面では、相談者中心(来談者のニーズに焦点を当てて面談を行う)のアプローチを取る必要がある。このアプローチを取ることができれば、対象がMSMでもその他の対象でも、相手のニーズに基づくという

点では大きな違いがない。

○大阪を中心に HIV 新規感染が増加傾向にある。今後近畿圏で HIV 検査、陽性者支援の重要性が高まることが予測される。感染症担当・その他の担当など業務を問わず、保健師の HIV 支援スキル、準備性を全般的に高める必要がある。

○HIV 関連分野では、他分野の保健師業務と比較すると、他の保健所との取り組みの共有がされにくい。

○保健師はもともと面接のスキルを持っている。HIV やセクシュアリティに特化した研修を行うことで、もともと持っている部分を生かすことが出来る。

○保健所や自治体によって、保健師が担当する HIV 関連業務の中身が異なるのでキャパシティーも異なっており、その部分に配慮する必要がある。

【関西圏で実施されている研修について】

○MSM 向けの広報を作る研修、MSM とのロールプレイを実施する研修は実施されている。

○自治体によっては、勉強会を主催して抗体検査場面・陽性者支援などの学習を実施している。NPO と協働して実施している場合もある。連携を深めるための連絡会を開始しているところもある。

4) 研修プログラムの策定

上記 1) から 3) の結果を踏まえ、研究グループ内で検討した。これらから得られた研修プログラム立案のポイントは以下である。

【研修内容について】

○MSM の可視化と理解促進を図る。具体的には MSM の抱える健康課題や生活の困難さが想像できるようになること。

○当事者が来て話をすることよりも、当事者に関連する情報、当事者が必要とする情報をリストとしてまとめ、日常的に当事者や支援リソースに関する情報収集をする必要性を強調するものとする。

○HIV 検査、陽性告知の場では、当事者のニー

ズをまず尊重する関わりが必要であるため、当事者のニーズから支援を構築する、相談者中心のアプローチを取る必要がある。

○支援の際の不明点がある場合も多いが、相談する窓口を提示する。

○関西では HIV 陽性者が漸増傾向であることから、今後陽性告知・陽性者の支援の重要性が増す。そのことを見据えて、保健師全般の陽性告知や陽性者支援の準備性を高める必要がある。

○HIV 関連業務における保健師の役割は自治体により異なるが、根幹となる部分を研修で網羅する。

【研修の様式について】

○講義形式のみでなく、演習と講義を組み合わせる。グループワークを取り入れ、参加者同士の交流を促す。また、このことは MSM に対する個人の価値観や考えの相対化を促す機会にもなりうる。

上記の背景を踏まえ、MSM 理解促進と HIV 陽性者の支援能力の向上の 2 点をテーマとした 1 日研修を企画した。

研修目標を以下に示す。

- ①セクシュアリティ（特に MSM の性的指向・性行動・心理社会的側面）に対する理解が深まり、MSM 対応に自信を持つことが出来る。
 - ②MSM への理解を深め、抱える健康問題やニーズを把握することが出来、支援に反映することが出来る。
 - ③HIV 陽性者支援への理解を深め、HIV 関連業務の場で活用することが出来る。
- 研修概要は表 1 に示す。

C-2. 研修の効果測定について

1) 研修実施

研修前に模擬参加者に対し、研修リハーサルを行い、内容や時間の確認を実施した。その後、大阪府他 4 自治体より、実施協力が得られ研修を 4 回実施した。研修の日程と参加人数を表 2 に示す。

研修実施の際に、講師は以下の点に留意して

行った。(以下、講師のコメントより)

【陽性告知の支援策を考えるグループワーク】

○普段の業務との共通点を見出してもらうこと。
○できる限り、具体的に考えるように取り組んでもらうこと。

○目指すものと現時点の差異があれば、それを意識し、普段から行う準備作業を意識してもらうこと。

○全てをやらなければならないだけでなく、得意分野でないことやわからないことに出会った時に、どう対処するのかをシュミレーションする機会にってもらうこと。

【講師の印象】

○参加者は研修中、支援策を考える際、「患者会」「拠点病院」「パンフレット」という言葉では表現できるが、「どんな」ということが明確にできず、支援策に具体性を持たせることが困難なようだった。

○更に取り組みたいと、個別に相談いただいた。

○陽性告知後対応の中に、MSM 理解が十分に反映しきれなかった。

○扱うテーマが多く、時間的な余裕が十分なかった。

2) 分析対象者

平成 25 年 2 月 1 日の時点で大阪・兵庫の研修において 1 ヶ月後の研修評価質問紙調査が終了していた。その時点で研修前、研修後、研修 1 ヶ月後の回答がすべてであった研修あり群 39 名、研修なし群 65 名を対象に、分析を行った。研修 1 ヶ月後の回収率は、研修あり群が 91.0%、研修なし群が 75.6%であった。

3) 対象者の基本属性および業務経験

分析対象者の基本属性および保健師業務における経験を、研修あり群、研修なし群について、表 3~17 に示した。対象者の平均年齢は、研修あり群 40.7 歳 (中央値 42.5、最頻値 29、標準偏差 9.1) 研修なし群 39.3 歳 (中央値 40.0、最頻値 28、標準偏差 11.08) であった。研修あり・

なし群で、年齢に有意差はなかった (t 検定、 $p=0.537$)。経験年数は、研修あり群で 16.0 年 (中央値 17.0、最頻値 5、標準偏差 10.0)、研修なし群で 14.5 年 (中央値 14.5、最頻値 1、標準偏差 11.8) であった。現在の担当業務は、研修あり群では HIV 担当が 89.7%、研修なし群では 49.2%と両方の群で最多であった。その他に、保健師養成機関の種類やこれまでの学習経験について尋ねているが、研修あり・なし群で有意な差は認められなかった。

4) MSM・同性愛に対する知識

表 18 の①~⑨は、同性愛に対する知識と考え方である。問①「同性愛者になるか異性愛者になるか、本人の希望によって選択できる」について、正答は「そう思わない」であるが、研修あり群、研修なし群の研修前において、「そう思わない」を選択した人は、35.9%、29.2%、研修実施 1 ヶ月後は、48.7%、44.6%であった。研修あり群には有意な差は見られなかったが、研修なし群において、研修前・1 ヶ月後に有意な差がみられた。この設問で取り上げた知識については、他の設問と比べて正答率が低く、また研修実施後にも研修あり群には変化が見られなかった。

同性愛に対する考え方として、問⑤「世の中の多くの人は、同性愛に対して偏見を持っていると思う」は研修あり群、研修なし群の研修前は 89.7%、75.4%で、1 ヶ月後は 89.7%、73.8%であった。この変化に有意な差は見られなかった。また問⑥「世の中の多くの人は、性同一性障害について偏見を持っていると思う」は研修あり群、研修なし群の研修前は 69.2%、53.8%で、1 ヶ月後は 76.9%、60.0%であった。この変化に有意な差は見られなかった。しかし、多くの保健師が、同性愛や性同一性障害に対して、世間一般に偏見が存在していることを認識していることがわかる。

問⑦「自分の相談する相手が同性愛者だと分かったら、抵抗を感じる」は、「そう思わない」

を選択した割合は、研修あり群の研修前は 64.1%、研修後 82.1%、研修 1 ヶ月後 89.7%で、変化に有意な差が見られている（前後 $p=0.039$ 、前 1 ヶ月後 $p=0.013$ ）。

問⑧「正直な気持ちとして、同性愛のことは理解できない気がする」は、「そう思わない」を選択した割合は研修前 59.0%、研修後 74.4%、研修 1 ヶ月後 76.9%だった。研修前後、研修後から 1 ヶ月後では有意な差が見られなかった。

5) 同性愛に対する感じ方 (JIHP)

表 19 は 25 項目からなる同性愛に対する感じ方 (JIHP 尺度) である。この設問の研修あり群・なし群の群間比較では、問④「同性が自分に性的な誘惑をしたら怒りを感じる」前後 ($p=0.007$)、問⑩「同性愛者のグループの中ではおちつかない」前後 ($p=0.004$)、前 1 ヶ月 ($p=0.011$)、問⑯「娘の先生がレズビアンだとわかって不愉快ではない」前 1 ヶ月 ($p=0.022$) 問⑱「上司が同性愛者だとわかったら嫌な気がする」後 1 ヶ月 ($p=0.042$) において、有意な差が見られた。

また、研修あり群の群内比較で、問④「同性が自分に性的な誘惑をしたら、怒りを感じる」前後 ($p=0.005$)、前 1 ヶ月 ($p=0.020$)、問⑨「自分の子どもが同性愛者だとわかったら、がっかりする」前 1 ヶ月 ($p=0.048$)、問⑩「同性愛者のグループの中ではおちつかない」前後および前 1 ヶ月 ($p=0.005$)、問⑭「男性二人が人前で手をつないでいるのを見たら気持ち悪い」前後 ($p=0.032$)、問⑲「上司が同性愛者だとわかったら嫌な気がする」前後 ($p=0.041$) に、変化に有意差が見られた。

一方、研修なし群でも、問⑤「自分が同性にとって性的魅力があると知っても不快でない」前 1 ヶ月 ($p=0.021$)、問⑦「同性に誘惑されても不快でない」前 1 ヶ月 ($p=0.003$)、問⑧「自分が同性の人に性的に惹かれていることに気がついて不快ではない」前後 ($p=0.036$)、問⑨「自分の子どもが同性愛者だとわかったら、

がっかりする」前後 ($p=0.015$)、前 1 ヶ月 ($p=0.002$)、問⑫「兄弟や姉妹が同性愛者だとわかったらショックだ」前 1 ヶ月 ($p=0.036$) 問⑬「子どもがゲイだとわかったら、自分が親として失格だと感じる」後 1 ヶ月 ($p=0.031$) のように、有意な変化が見られた。

JIHP の総得点は、満点は 100 点で、得点が下がれば下がるほど同性愛に対する抵抗感が少ないことを示す。研修あり群の得点は、研修前 38.6 点、研修後 35.5 点、研修 1 ヶ月後 34.8 点である。研修あり群内の JIHP 総得点の対応サンプル t 検定結果は、前後 ($p=0.004$)、前 1 ヶ月後 ($p=0.015$)、後 1 ヶ月後 ($p=0.728$) となっており、抵抗感は減少しその後、継続したことを示している。

6) MSM 対応

表 20 は、MSM 対応に関する項目である。研修あり群・なし群の比較では、問②「あなたの家族や親戚、友達、職場の同僚など、身近な人の中に MSM がいると思いますか」研修前 1 ヶ月後 ($p=0.026$)、問③「あなたは、HIV 検査や相談の中で、MSM の性行為、性的な話題になったとき、抵抗感がありますか」研修前後 ($p=0.042$)、問④「あなたは、HIV 検査や相談の中で、面談者の性的指向がわかりにくいとき、抵抗感を感じますか」研修後 1 ヶ月後 ($p=0.031$)、問⑥「MSM と思われる、または MSM の受検者 (相談者) への対応に、自信はありますか」研修前後 ($p=0.01$)、前 1 ヶ月後 ($p=0.002$)、後 1 ヶ月後 ($p=0.558$) と有意な結果が得られた。

研修あり群の群内比較では、問②「あなたの家族や親戚、友達、職場の同僚など、身近な人の中に MSM がいると思いますか」研修前後 ($p=0.003$)、研修前 1 ヶ月後 ($p=0.002$)、研修後 1 ヶ月後 ($p=0.744$)、問③「あなたは、HIV 検査や相談の中で、MSM の性行為、性的な話題になったとき、抵抗感がありますか」研修前後 ($p=0.003$)、研修前 1 ヶ月後 ($p=0.016$)、

研修後 1 ヶ月後 ($p=0.534$)、問⑥「MSM と思われる、または MSM の受検者 (相談者) への対応に、自信はありますか」研修前後 ($p=0.001$)、研修前 1 ヶ月後 ($p=0.000$)、研修後 1 ヶ月後 ($p=0.744$) の有意な結果が得られた。

研修なし群の変化として、問④「あなたは、HIV 検査や相談の中で、面談者の性的指向がわかりにくいとき、抵抗感をかんじますか」研修後 1 ヶ月後 ($p=0.004$) という有意な結果が見られた。

7) 陽性者支援に関する知識

表 21 に 14 項目の陽性者支援に関する知識の質問項目の結果である。

研修あり群で、問③「検査が匿名であっても、陽性告知の場面では必要に応じ、受検者の氏名やプライバシーに関わる内容を確認する必要がある」では、研修前後 ($p=0.039$) と有意な結果が得られた。研修なし群での有意な変化は見られなかった。総得点としては、研修あり群で研修前 11.2 点、なし群で 10.5 点、研修 1 ヶ月後には研修あり群で 12.0 点、なし群で 11.1 点となっている。あり群内では前後 ($p=0.002$)、前 1 ヶ月後 ($p=0.005$)、後 1 ヶ月後 ($p=0.361$) と有意な変化があった。あり群・なし群の群間比較では、研修前後 ($p=0.049$) であり、研修あり群での得点の変化は、なし群に比べて有意に大きかった、つまり研修効果が認められたことを示している。

8) HIV 陽性者支援に対する態度と対応

表 22 は、HIV 陽性者支援に対する態度と対応に関する質問項目の結果である。陽性者対応の自信について、研修あり群では、研修前後 ($p=0.002$)、前 1 ヶ月後 ($p=0.017$)、研修後 1 ヶ月後 ($p=0.096$) という結果が得られた。この設問の群間比較では研修前後 ($p=0.037$)、研修前 1 ヶ月後 ($p=0.210$)、研修後 1 ヶ月後 ($p=0.318$) となった。

9) 研修後評価

研修あり群に対して、研修後、研修 1 ヶ月後に研修が役に立つかを尋ねた結果を示したのが表 23 である。総じて、研修の各内容は「大変役に立っている」「まあ役に立っている」と評価されている。研修後 1 ヶ月後で「役立つ感」が有意に変化しているのが、「講義：MSM の心理社会的背景と健康課題-保健師にもとめられる支援のあり方とは」($p=0.002$)、「講義：実践報告：保健所における陽性告知(自治体の発表)」($p=0.003$)、「講義：陽性告知支援について」($p=0.001$)、「ワーク：陽性告知に必要なこと・モノは何？」($p=0.001$)、「ワーク：陽性告知のケースで、考えられるケアプラン・支援・必要な支援を作成する」($p=0.00$) である。これは、「大変役立つ」から「まあ役に立っている」への変化であり、時間と共に研修効果の実感が希薄化したのかもしれない。

10) 各変数との MSM 対応自信のクロス表

「MSM 対応の自信」を従属変数とした各変数とのクロス集計の結果を表 24 に示した。最終学歴、保健師養成課程や保健師になってからで同性愛・性同一性障害について学んだこと、各種研修受講歴と MSM 対応自信度に有意な差はなかった。

MSM 対応経験があること、MSM 陽性告知に関わった経験があること、JIHP 得点が低いこと、陽性者対応自信があることは MSM 対応の自信に有意な差が見られた。($p<0.05$)

11) 各変数との陽性者支援自信のクロス集計

「陽性者支援の自信」を従属変数とした各変数とのクロス集計の結果を表 25 に示した。最終学歴、保健師養成課程や保健師になってからで同性愛・性同一性障害について学んだこと、保健師養成課程で HIV について学んだこと、JIHP 得点や陽性者支援知識得点と陽性者支援の自信度に有意な差がなかった。HIV 研修の受講歴、MSM の HIV 検査受験者・相談者対応経

験があること、MSM の陽性告知に関わった経験があること、MSM 対応の自信と陽性者支援自信に有意な差が見られた ($p<0.05$)。

12) 自由記載の分析結果

研修後の質問票に回答した 42 人中 36 人、136 情報が得られた。各質問項目に対する回答は、定性的分析法で分析を実施し、カテゴリ毎にまとめたのが表 26 である。研修の印象・感想として、「ポジティブコメント(研修手法)」、「ポジティブコメント(研修内容)」、「ポジティブコメント (MSM)」、「ポジティブ (その他)」、「今後実施すべき事 (課題)」、「その他」の 6 カテゴリがあった。MSM 対応のため、研修に含んで欲しい内容には、「研修手法」と「研修内容」の 2 項目、陽性告知のため研修に含んで欲しい内容には、「研修手法」、「研修内容」及び「その他」の 3 項目が挙げられた。最後に、その他、気づいた点の設問には、「今後の要望」、「現状・課題」「その他」があった。

同様に、研修 1 ヶ月後の自由記載の分析結果を表 27 に示した。研修 1 ヶ月後の質問票に回答した 39 人中 33 人、115 情報が得られた。各質問に対する回答は、定性的分析法で分析を実施した。陽性告知に対する意識として、「ポジティブ変化 (感情の変化)」、「ポジティブ変化 (実践報告)」、「ポジティブ変化(その他)」、「課題」、そして「変化なし」という 5 つの項目があった。実践している事・実践しようとしている事については、「実践している事」、「今後しようとする事」および「気づき・変化なし」の 3 項目が浮かび上がった。MSM 対応のため研修に含んでほしい事および、陽性告知のため研修に含んで欲しい内容という設問には、それぞれ、「研修手法」と「研修内容」の 2 項目についての記載があった。最後のそのほか・気づいた点に関しては、「課題」や「疑問・こまっている事」についての回答があった。

D. 考察

本研究では MSM 理解促進と陽性告知時の対応能力向上の 2 つのテーマを取り上げる研修を企画し、研修効果を質問紙調査により測定した。これまでの結果を踏まえ、

1. 研修プログラムの策定について、2. MSM 理解促進について、3. 陽性告知時の対応能力向上について、4. 受講者の変化について、5. 今後の課題 に分けて、考察する。

1. 研修プログラムの策定について

1) 研修スケジュールについて

研修は、ワークと講義を組み合わせで実施した。ある参加者は「MSM について講義の前に考えて目的意識をもって話を聞いたので知識が定義しやすいと思った」とコメントし、また別の参加者は「講義とワークのバランスが良かった」とコメントをしていた。ただ、「グループワークがタイトなスケジュール」と感じていた者もいた反面「1 つのワークが短時間で区切られ、実施する内容も明確なので苦痛が少なくよかった」との意見もあった。グループワークは時間の長短はあまり影響がないと考えられた。むしろ、短時間で区切った方が、集中することが出来るという事がわかった。

2) 研修の内容について

研修内容として、2 名の講師の講義は大きな学びを参加者に与えたことがよくわかる。グループワークについても、「他の参加者の意見が聞けて良かった」、「ワークを通して、今までの支援をゆっくり振り返ることが出来た」や「自分で考え、自分自身の課題を見つけることが出来た」とポジティブなコメントがあった。今回の研修では、グループワークで参加者が自分自身の価値観などのプライベートな意見が言えるように、全員が守るべき「グラウンドルール」を設定していた。その中の「話さなくていい自由」については、「今までにない気持ちが楽な研修だった」と好適に受け入れられた反面、

「話さなくていい自由は、難しい」とのコメントもあった。グループワークでは、話さないわけにはいかないと感じたようであった。

また、陽性告知と MSM への理解をあわせてグループワークを行うことが難しかったことや時間的制約もあり、ワークの時間を限定する必要があった。今後研修テーマを1つに絞ること、また研修回数を2回に分割すること、陽性告知の支援策を考えるグループワークや講義の中で MSM 支援を十分に取り上げる時間的余裕を持つこと、講義内容の再検討が今後の課題として挙げられる。

3) 今後の研修への要望

「MSM 対応研修」と「陽性告知研修」に含んでほしい内容として一番多かったのが、「当事者による体験が聞きたい」というものであった。次に多かったのが、「事例に基づくロールプレイ」や「事例検討」であった。このことから、MSM や HIV 陽性告知を受けた人が、保健師や医療者の対応で何を感じ、どういった情報を得たいと思っているかを知ることが、実際の現場での対応のヒントを与えると強く考えている事がわかる。また、グループワークの中でも、支援策を考える際に「患者会」、「パンフレット」などの言葉の表現は可能であったが、具体的な支援策を導き出すことが難しかったことから、実際の支援のイメージが付いていないことが考えられた。また事例検討でも「失敗事例を知りたい」という意見は、「何がダメで、如何すればうまくいったのか」を考えることが大切と考えているようであった。

2. MSM 理解促進について

多くの保健師が世間一般に同性愛や性同一性障害について、偏見が存在していることを認識していた。研修を受けたことで、MSM への抵抗感が減少している。また、「同性愛のことは理解できない気がする」の答えとして、研修1ヶ月後まで「そう思わない」の回答が有意に増

加していること、JIHP の項目に有意な変化が見られたことから、研修を受講したことで MSM に対しての心理的な隔たりが減じたことが考えられる。MSM が身近に存在するかという問いに対して、研修あり群では「身近にいる」という回答が有意に増加しており、研修を受けたことで MSM の存在を日常的に意識するようになってきている。研修によって、MSM の存在が可視化されたと考えられる。

MSM 対応について、研修あり群では HIV 検査の中で MSM の性行為に対する抵抗感の有意な減少が研修から1ヶ月後まで持続している。また MSM と思われる、又は MSM の受検者(相談者)への対応の自信が増加しており、研修に MSM 対応の自信を向上させる効果があったことが考えられる。一方、この MSM への対応の自信向上には、最終学歴やこれまでの研修歴などは関係しておらず、MSM の受検者対応や相談者対応経験が関係している。

研修なし群においても、JIHP の項目に研修前後・1ヶ月後との有意な差が現れているが、これには、①研修なし群を研修参加者と同じ施設からリクルートしていることにより、復命や情報交換から得られた意識の変化である可能性、②同一の質問紙を反復して回答していることから、学習の効果がでているもしくは良く回答しようという意識が働いている可能性が考えられる。しかし MSM 対応の自信の変化には群間で1ヶ月後に有意差が現れていることから、意識の変化を認めることが出来たが、実際の MSM 対応能力には大きくは結びついていないことが推察される。これにより、この研修の保健師の MSM 対応能力向上の効果があったことが考えられる。

3. 陽性告知時の対応能力向上について

陽性者支援の知識については、研修前後、1ヶ月後で研修なし群に比して支援知識の総得点が有意に増加しているため、研修の知識への効果があると考えられる。HIV 陽性者対応の自信